

気象庁の提供すべき気象情報 と関係機関等との連携・協力

1. 気象庁の提供すべき気象情報

気象庁は、総合的な気象業務の健全な発達を図り、災害の予防、交通の安全の確保、産業の興隆等公共の福祉を増進するため、様々な気象情報を作成・提供してきている(ここで、「気象情報」とは、「気象業務」として作成・提供される気象、地震・津波、火山等にかかわる情報をいう)。気象庁が、国の機関として責任をもって作成・発表すべき気象情報について、その考え方をとりまとめると次のとおりである(詳細は別紙1)。また、個別の情報の分類は重複する場合もある)。

注意報・警報等の防災気象情報

国際的な責務・貢献として作成・発表すべき気象情報

国の政策に必要な基盤的な気象情報

あまねく国民が享受すべき共有財産としての性格を有する気象情報

気象庁が現在提供している各種気象情報は、上記の考え方に照らして適正なものと考えられるが、気象庁は、気象業務の目的を達成するため不断の見直しを行い、より適確な情報の提供に努める必要がある。

2. 関係機関等と連携・協力した総合的な気象情報の提供

気象庁自らは、前述の考え方により気象情報の作成・提供を行うが、多様なニーズに適合した気象情報の提供を実現するためには、引き続き関係行政機関、地方公共団体、報道機関、民間気象事業者等との連携・協力が必要不可欠である。官民の役割分担についての概念図は別紙2の通り。

このため、気象庁の作成する気象情報が国民の共有財産であることにかんがみ、行政情報の公開の観点からも、(当該情報を提供されることによりかえって国民が混乱するなどの)特段の支障のない限り、業務の遂行過程において作成した中間成果物としてのG P V情報等を含め、保有している気象情報を積極的に公開し、報道機関、民間気象事業者、情報通信事業者等、民間部門における活力を強化する必要がある。

なお、気象情報に対する国民の期待に応え、かつ、社会的な混乱の防止等を図るためには、気象庁以外の者の行う観測精度の維持、発表する気象情報の質の確保等を図るため、気象庁は所要のルールを定立するなどの一定の関与を行う必要がある。

気象庁の提供すべき気象情報

注意報・警報等の防災気象情報

国、地方公共団体、企業、一般国民などが、防災対応を行うために必要な、気象、地震、火山、津波、高潮、波浪、洪水等に関する情報。

(例 台風予報、気象等の注意報・警報、地震・津波情報、火山情報、これらを補完し又は一体的に提供されることにより防災効果を高める大雨等の気象情報等の情報)

国際的な責務・貢献として作成発表すべき気象情報

条約等の国際的取り決めや国際的な連携・協力により行う監視・予測等に関する情報

(例 船舶・航空機向け情報、オゾン層、地球温暖化に関する情報等)

国の政策に必要な基盤的な気象情報

農業・食糧・水資源管理・環境政策等の施策を各省庁が推進するに当たり必要な情報であって、必ずしも国自らが行わなければならないものではないが、情報の性質上、中長期的な技術開発・先行投資が必要となるなど、民間では対応が困難なもの

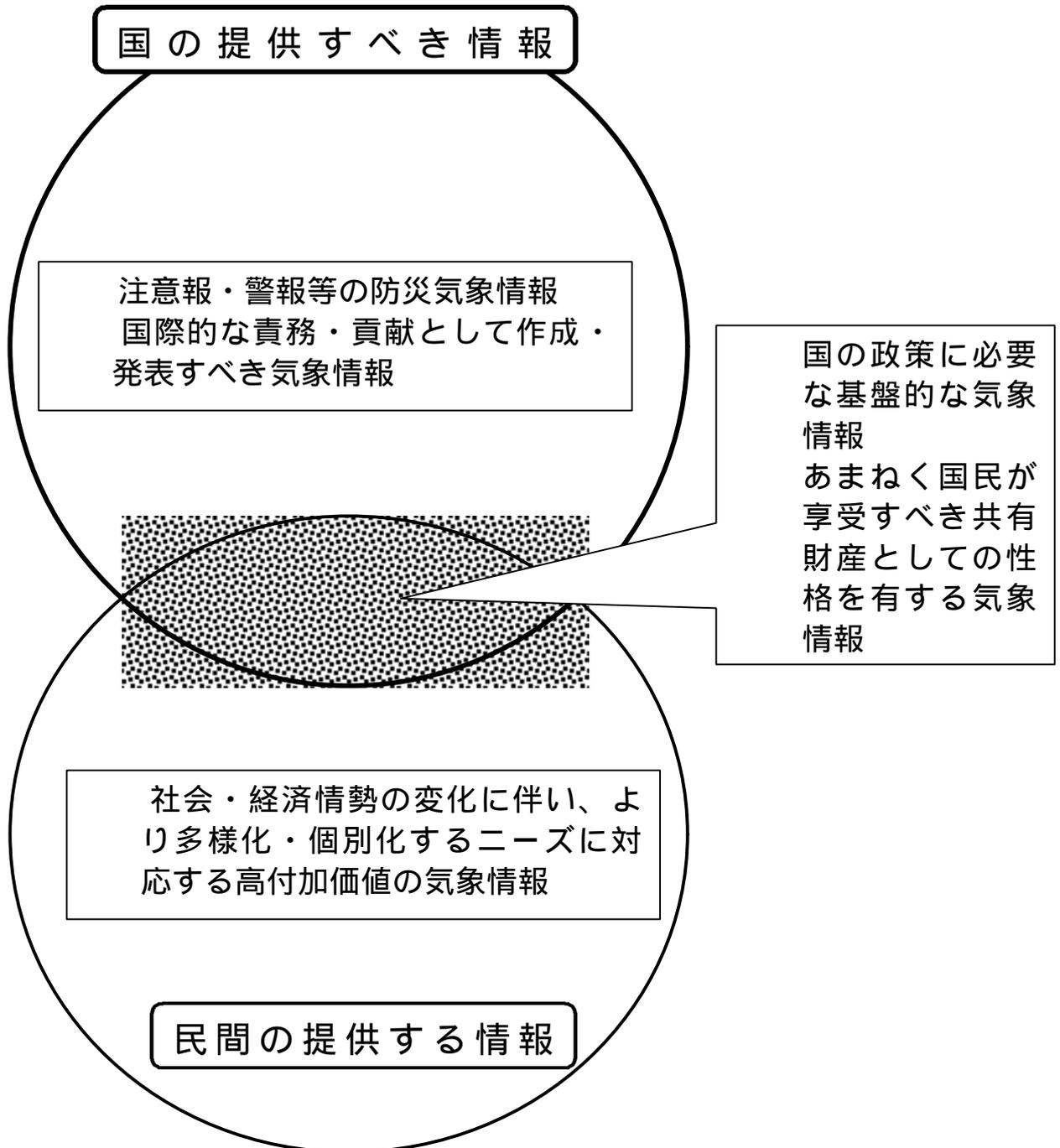
(例 異常気象等に関する気候情報、季節予報 等)

あまねく国民が享受すべき共有財産としての性格を有する気象情報

我が国全体の社会・経済活動、国民生活の安定等の観点から、あまねく国民が享受すべき共有財産としての性格を有する情報であって、上記の防災気象情報等に密接に関わるか、又は一体不可分な関係を有していることから、これら業務の一環として効率的に作成・提供することが可能であるもの

(例 天気予報、週間予報 等)

気象庁の提供すべき情報と官民の役割分担



「注意報」について

自然災害から国民の生命・財産を守るために発表される防災気象情報については、社会的な混乱回避等のため、気象庁が国として一元的に発表してきている。「警報」は、「重大な災害の起るおそれのある旨を警告して行う予報(気象業務法第二条)」、「注意報」は、「災害が起るおそれがある場合に、その旨を注意して行う予報(気象業務法施行令第四条)」とされ、何れも想定される災害の規模は異なるものの「災害の起るおそれのある旨」を伝えることを前提としており気象庁が一元的に発表すべきものと考えられる。

現在の「注意報」及び「警報」が対象とする自然現象には、「気象」、「洪水」、「津波」、「高潮」、「波浪」等があり、両者は一体的に運営されてきている(気象業務法施行令第四条)。

「気象警報」及び「気象注意報」は、さらに細分化されており、「大雨警報 大雨注意報」、「暴風警報 強風注意報」等、警報と注意報とが一体的に運営されている。なお、災害の程度や予測技術の観点から、「雷」、「霜」等、「注意報」のみの発表となっている現象がある。

台風接近時に気象台が発表する各種の情報（例）

日付	台風や大雨、暴風等の状況	気象庁や各地の気象台が発表する防災気象情報
X - 3 (3日前)	<ul style="list-style-type: none"> 台風が日本の南海上を北上、数日後、太平洋側の地方に接近する可能性あり 台風のコースによっては、明日以降A県で影響が出始めることが予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 気象庁本庁；3時間毎に台風に関する全般気象情報の発表を開始 地方気象台では台風に関するA県気象情報の発表を開始 解説を加えた情報を、県庁等防災機関へ提供
X - 2 (2日前)	<ul style="list-style-type: none"> 台風の日本接近の可能性が高まる 明日以降A県では大雨等顕著な影響が予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 本庁；台風に関する全般気象情報毎時発表開始 今後の大雨や強風の予想を加えた台風に関するA県気象情報の日3回発表開始 防災機関との情報交換対応を強化
	<ul style="list-style-type: none"> 台風の北上に伴い、波が高くなることが予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 波浪注意報を発表
X - 1 (1日前)	<ul style="list-style-type: none"> A県では雨や風が強まるとともに潮位が上昇し、今後、注意報基準を超えると予想される 台風は速度を速め、A県に上陸またはかなり接近して通過する可能性が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨、強風、高潮注意報を発表、その中に、今後警報に切り替わる可能性があることを記述
	<ul style="list-style-type: none"> A県 地方では、早くから相当の雨が続いており、他の地域に先んじて雨量が警報基準を超えると予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 台風に関するA県気象情報の毎時発表開始 大雨や強風の予想を加えた台風に関するA県気象情報で、コースが類似している過去の災害台風をあげ、一層の注意を呼びかける
	<ul style="list-style-type: none"> A県 地方では、早くから相当の雨が続いており、他の地域に先んじて雨量が警報基準を超えると予想される 	<ul style="list-style-type: none"> A県 地方に対して大雨警報を発表 雨の実況を加えた台風に関するA県気象情報発表開始 降水短時間予報に解説を加え、防災機関への随時の提供を開始
X (当日)	<ul style="list-style-type: none"> 風、波や潮位が警報基準を超えると予想 	<ul style="list-style-type: none"> 暴風、波浪、高潮警報を発表
	<ul style="list-style-type: none"> 台風の中心付近の発達した雲域が間もなくA県にかかり始めると予想される 台風は数時間後、A県に上陸する可能性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> A県全域に対して大雨警報を発表 風の実況を加えた台風に関するA県気象情報の発表を開始
	<ul style="list-style-type: none"> レーダー・アメス解析雨量により、市付近で数年に一度ぐらいしか起こらないような記録的1時間雨量を観測 	<ul style="list-style-type: none"> 記録的短時間大雨情報を発表し、さらに一層の警戒を呼びかける
	<ul style="list-style-type: none"> A県内を流れる一級河川のC水系D河川について、今後とも水位が上昇を続けると予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 建設省工事事務所と共同で、すでに発表していたD川洪水注意報をD川洪水警報に切り替えて発表
	<ul style="list-style-type: none"> 台風がA県に上陸、通過 	<ul style="list-style-type: none"> 台風に関するA県気象情報で、浸水や土砂災害のおそれの高い地域を指定し、警戒を呼びかける 警報類を切替え、その中で激しい現象がいつ頃まで続くかの見込みを発表
	<ul style="list-style-type: none"> この頃、風や雨が最も激しいと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 強風、波浪、高潮注意報に切り替える
X + 1 (翌日)	<ul style="list-style-type: none"> 台風による風、波や高潮は徐々に収まると予想される 	<ul style="list-style-type: none"> 大雨警報を継続し、土砂災害への警戒の呼びかけを継続
	<ul style="list-style-type: none"> A県での強い雨はなくなったが、相当の大雨であったので、まだ、土砂くずれ等の危険性が高い地域がある 	<ul style="list-style-type: none"> 建設省工事事務所と共同で、D川洪水警報をD川洪水注意報に切り替え
	<ul style="list-style-type: none"> D川の水位が徐々に低下 	<ul style="list-style-type: none"> 建設省工事事務所と共同で、D川洪水警報をD川洪水注意報に切り替え
	<ul style="list-style-type: none"> 台風の影響なくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 残っていた全ての警報と注意報を解除

(注) 上記の例は、防災気象情報として使用する情報の名称を紹介するために構成したものであり、実際の多様な状況に応じて発表する気象情報の内容や順序とは異なる場合も多い。